NPO法人 全日本聴覚障害スキー指導員会

平成２３年度　第９回定期総会議案書

とき　　平成２３年７月６日～７日

ところ　神奈川県横浜市港北区　新横浜フジビューテル

～スケジュール～

※理事会は午前10時～12時に実施しますので、理事の方は10時までに会場にご参集くださるよう、よろしくおねがいします。

７月６日（土）

12:30～13:00　受付（入会・継続の会費受付）

13:00～15:00　総会

１．開会通告
２．会長挨拶
３．総会議長選出
４．議事録署名人選出
５．書記の指名
６．定足数確認
７．審議事項
　第１号議案　平成２３年度事業報告
　第２号議案　平成２３年度収支決算報告及び監査報告
　第３号議案　平成２４年度事業計画（案）
　第４号議案　平成２４年度活動予算費（案）
　≪休憩　14:30頃を目安に≫
８．その他
９．閉会通告
１０．事務連絡（新入会員紹介、準・正指受検者紹介、来年度総会場所の紹介）
１１．閉会の挨拶

ここから新会員の挙手OK

【もちもの】忘れずに！！

・有資格者(指導員・準指導員)は各自の指導員(インストラクター)ネームプレートを持参してください。
・一般会員の方には、こちらで準備いたします。
・この総会資料は必ずご持参ください。

【総会以外の予定】

7月6日　分科会終了後
17:00～18:00　フリー(入浴等)
18:00～21:00　夕食(交流会)
21:00～　　フリー(2次会など)

7月7日　懇親会終了後
12:30～　昼食
14:00　解散又はフリー

15:15～17:00　分科会（はじめに書記と翌日の報告者を決めること）

【分科会テーマ】

公認スキー指導者としての心構え

（１）　講演　　講　師　目黒 達也
（２）　ディスカッション　　全　員

７月７日（日）9:00～11:30　懇親会

（１）　分科会の発表
（２）　その他（来年度行事のＰＲ、再来年の総会場所決定ほか）

書式第９号（法第２８条関係）

平成 ２３年 度　事 業 報 告 書

平成２３年　６月　１日から平成２４年　５月３１日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

１．事業の成果

当年度は、（１）聴覚障害者のスキー技術の向上を図る為、第９回西日本ブロックスキー講習会を実施、第１５回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会を開催しました。（２）聴覚障害児のスキー普及活動の促進を図る為、昨年に続き３校のスキー教室への講師を派遣しました。（３）聴覚障害者へのスキー啓発・広報を目的として、以前から継続しているホームページを通じて活動の紹介や情報の提供をしました。以上の３点を重点課題として下記の事業に着手しました。

（１）の聴覚障害者のスキー技術向上を目的とする事業のうち、1月に開催を計画していた「正月レベルアップ合宿」は中止としました。
２月に計画していた「第９回西日本ブロックスキー講習会」は継続事業として兵庫県奥神鍋スキー場で開催しました。９回目となる今回は西日本在住の児童・生徒も含め参加者を募り、西日本のデフわんぱくスキー教室を兼ねて実施しました。過去のデフわんぱく指導経験者を揃え、小中学生の指導経験がある指導員が協力し担当することで、児童・生徒がのびのびと受講することができ、保護者にとっても安心して預けられる事業になりました。また、今まで子どもを対象としたスキー指導の経験が無い指導員にとっても指導対象者の幅を広げる機会となり、今後の西日本スキー講習会の可能性を広げることができました。
３月に長野県菅平高原スキー場で「第１５回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会」を開催し、５２名の参加者を集めて盛大に行われました。今年はゲスト審判として元デモンストレーターを２名招聘し、各種目の前走を務めていただきました。日本のスキー界男女のトップアスリートによる最先端の滑りを披露できたことは、参加者にとって贅沢なデモンストレーションとなりました。
（２）の聴覚障害児を対象としたスキー教室については、主催事業として継続開催しているデフわんぱくスキー教室を1月に実施しました。この事業は大規模地震の発災により昨年度実施できず2年ぶりの開催であったため募集開始後1週間には満員御礼となり、リピーターは久しぶりの再会を喜んでいました。
継続事業となっているろう学校スキー教室派遣事業は、昨年に引き神戸聴覚特別支援学校スキー教室が兵庫県ハチ北スキー場で開催され、高等部の生徒に対し６名の講師を派遣しました。岡山ろう学校スキー教室は鳥取県だいせんホワイトリゾートスキー場で開催され、高等部の生徒１１を対象に３名の講師を派遣しました。
また、昨年度講師派遣を実施した神奈川県川崎市の特別支援学校から、今年度もスキー教室の講師派遣依頼がありました。昨年度は中学生だけの参加者で実施していたこの事業に、今年度は高校生も加わったため参加生徒が１０名に増えたため、昨年度1名の講師派遣であったところ２名に増やしました。このスキー教室への講師派遣が継続していること、さらに参加者の人数と対象年齢の幅が広がったことは、講師派遣が好評価であったことの証明であり、講師派遣事業の成果と捉えています。

（３）聴覚障害者へのスキー啓発・広報の活動としては、スキー用語手話の活動実績はありませんが、（財）全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が確定した技術スキーのサイン用語（６３単語）を、引き続き当会のホームページに掲載し不特定多数の方に活用してもらっています。

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名	事　業　内　容	実施日時	実施場所	従事者	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額（千円）
スキー指導に関する事業	正月レベルアップ合宿	中止				0.0
同　上	神戸聴覚特別支援学校スキー教室派遣	１月２５日～１月２７日	兵庫県神鍋スキー場	７名	神戸聴覚特別支援学校中学部３５名	0.0
同　上	川崎ろう学校中学部移動教室	２月１日～２月３日	山梨県ふじてんスノーリゾート	２名	川崎ろう学校中、高等部の１０名	0.0
同　上	第９回西日本ブロックスキー講習会（兼デフわんぱくスキー教室）	２月１１日～２月１２日	兵庫県奥神鍋スキー場	１０名	西日本在住の聴覚障害児・者の４４名	542.0
同　上	岡山ろう学校スキー教室	２月１日～２月３日	鳥取県だいせんホワイトリゾートスキー場	３名	岡山ろう学校高等部　１１名	0.0
全日本聴覚障害スキー技術選手権大会の開催事業	第１５回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会	２月２４日～２月２６日	長野県菅平高原スキー場	８名	全国の聴覚障害者の約５２名	208.0
スキー指導に関する事業	第５回デフわんぱくスキー教室	１月２７日～１月２９日	長野県菅平高原スキー場	３７名	全国の聴覚障害児の約５７名	2,106.0
聴覚障害者へのスキー啓発・広報	ホームページや各種事業の対話・交流を通じて、活動内容を不特定多数の方への紹介また情報交換の場として、機関誌などの発行、総会の開催	通年	事務所	５名	不特定多数	310.0

書式第１２号（法第２８条関係）収支計算書

平成23年度 特定非営利活動に係わる事業会計収支計算書

平成２３年　６月　１日から平成２４年　５月３１日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　収入の部			
１　会費・入会金収入			
入会金収入	1,000		
会費収入	126,000	127,000	
２　事業収入			
(1)　スキー指導に関する事業	2,869,420		
(2)　大会開催に関する事業	207,982		
(3)　啓発・広報に関する事業	286,337		
(4)　手話に関する事業	0	3,363,739	
３　補助金等収入			
助成金収入	0	0	
４　寄附金収入			
	0	0	
５　その他収入			
利息収入	6,767		
立替金収入	0	6,767	
当期収入合計			3,497,506
前期繰越収支差額			2,467,028
収　入　合　計			5,964,534
Ⅱ　支出の部			
１　事業費			
(1)　スキー指導に関する事業	2,671,404		
(2)　大会開催に関する事業	207,982		
(3)　情報保障に関する事業	0		
(4)　啓発・広報に関する事業	309,527		
(5)　手話に関する事業	0	3,188,913	
２　管理費			
什器備品費	0		
光熱水費	0		
消耗品費	19,395		
渉外費	4,000		
会議費	9,920		
通信運搬費	7,364		
印刷製本費	6,831		
分担金	0		
租税公課	0	47,510	
３　その他			
預かり金返金	516,070	516,070	
４　予備費			
予備費		0	
当期支出合計			3,752,493
当期収支差額			2,212,041
次期繰越収支差額			2,212,041

書式第１０号（法第１０条関係）財産目録

平成23度　特定非営利活動に係わる事業会計財産目録

平成２４年　５月３１日作成

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金予算			
現金	0		
普通預金			
（１）ゆうちょ銀行	261,317		
（２）三菱東京UFJ銀行	285,836		
（３）みずほ銀行	658,488		
定期預金			
（１）みずほ銀行	1,006,400		
流　動　資　産　合　計		2,212,041	
２　固定資産			
土地	0		
建物	0		
固　定　資　産　合　計		0	
資　　産　　合　　計			2,212,041
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
短期借入	0		
預り金	119,813		
流　動　負　債　合　計		119,813	
２　固定負債			
長期借入金	0		
固　定　負　債　合　計		0	
負　　債　　合　　計			119,813
正　　味　　財　　産			2,092,228

書式第１１号（法第２８条関係）貸借対照表

平成23年度特定非営利活動に関わる事業会計貸借対照表

平成２４年　５月３１日現在

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
１　流動資産			
現金預金	2,212,041		
未収入金	0		
流　動　資　産　合　計		2,212,041	
２　固定資産			
土地	0		
建物	0		
固　定　資　産　合　計		0	
資　　産　　合　　計			2,212,041
Ⅱ　負債の部			
１　流動負債			
短期借入金	0		
預かり金	119,813		
流　動　負　債　合　計		119,813	
２　固定負債			
長期借入金	0		
固　定　負　債　合　計		0	
負　　債　　合　　計			119,813
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,952,448	
当期正味財産増減額		139,780	
正味財産合計			2,092,228
負債及び正味財産合計			2,212,041

監査報告書

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

会長　土師　比佐夫　殿

平成２３年度（平成２３年６月１日から平成２４年５月３１日まで）における特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会の財産の状況及び業務執行の状況について監査を行った結果、収支計算書、貸借対照表、財産目録はいずれも正確に記載されており、財産の管理等業務執行は法令、定款に従い適切になされているものと認めます。

平成２４年６月２４日

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

監事　　呉竹　一人

監事　　川上　典男

書式第７号

平成 ２４年 度　事 業 計 画 書

平成２４年　６月　１日から平成２５年　５月３１日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

１．事業実施の方針

前年度からの事業を継続する。

２．事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額（千円）
スキー指導に関する事業	第６回 デフわんぱくスキー教室	１月１１日 ～１月１４日	長野県 菅平高原スキー場	２０名	全国の聴覚障害児の約７０名	2,600.0
同　上	神戸聴覚特別支援学校 スキー教室派遣	未定 （１月又は２月）	兵庫県 神鍋スキー場	３～５名	神戸聴覚特別支援学校高等部 約１５名	0.0
同　上	川崎ろう学校中学部移動教室	２月初旬予定	山梨県ふじてんスノーリゾート	２名	川崎ろう学校 中学部の約１０名	0.0
同　上	第１０回 西日本ブロックスキー講習会 (兼デフわんぱくスキー教室)	２月９日 ～２月１１日	鳥取県 だいせんホワイトリゾートスキー場	１０名	西日本在住の聴覚障害児・者の 約４０名	500.0
同　上	岡山ろう学校スキー教室	１月３０日 ～２月１日	鳥取県 だいせんホワイトリゾートスキー場	３名	岡山ろう学校 高等部　１１名	0.0
全日本聴覚障害スキー技術選手権大会の開催事業	第１６回 全日本聴覚障害スキー 技術選手権大会	２月２３日 ～２月２４日	長野県 Mt乗鞍スキーリゾート	８名	全国の聴覚障害者の約５０名	210.0
聴覚障害者へのスキー啓発・広報	ホームページや各種事業の対話・交流を通じて、活動内容を不特定多数の方への紹介 また情報交換の場として、機関誌などの発行、総会の開催	通年	事務所	５名	不特定多数	20.0

書式第９号（法第１０条・第２５条関係）

平成24年度 活動予算費

平成２４年　６月　１日から平成２５年　５月３１日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　経常収益			
１　会費・入会金収入			
入会金収入	2,000		
会費収入	110,000	112,000	
２　事業収入			
(1)　スキー指導に関する事業	3,500,000		
(2)　大会開催に関する事業	250,000		
(3)　啓発・広報に関する事業	350,000		
(4)　手話に関する事業	0	4,100,000	
３　補助金等収入			
助成金収入	0	0	
４　寄附金収入			
	0	0	
５　その他収入			
利息収入	3,000		
立替金収入	0	3,000	
当期収入合計			4,215,000
前期繰越収支差額			2,212,041
収　入　合　計			6,427,041
Ⅱ　経常費用			
１　事業費			
(1)　スキー指導に関する事業	3,200,000		
(2)　大会開催に関する事業	200,000		
(3)　情報保障に関する事業	30,000		
(4)　啓発・広報に関する事業	350,000		
(5)　手話に関する事業	10,000	3,790,000	
２　管理費			
什器備品費	150,000		
光熱水費	0		
消耗品費	20,000		
渉外費	5,000		
会議費	50,000		
通信運搬費	25,000		
印刷製本費	50,000		
分担金	0		
租税公課	2,000	302,000	
３　その他			
預かり金返金	119,813	119,813	
４　予備費			
予備費		0	
当期支出合計			4,211,813
当期収支差額			2,215,228
次期繰越収支差額			2,215,228